

アジア・アフリカ図書館だより

第8号

10周年記念号

令和5年8月

アジア・アフリカ図書館のリニューアル10年を振り返って

当図書館が2013年にリニューアルされ、今年で10年になります。その間に様々な変化がありました。まず、新しく企画展示を開始しました。企画展示は壁面にパネルを貼ることによる壁面展示、書架を使っての現物展示から成り立っています。取り上げた内容については2ページ目に掲載した通り、アジア・アフリカ世界の主要課題を取り上げた、展示テーマを中心に年間を通じて活動を繰り返してきました。リニューアル後の新しい試みとして、「図書館だより」の発行もあります。展示の紹介をしながら、前年度の図書館活動の状況なども盛り込みました。三鷹市立南部図書館が行う「みんなみフェスタ」を後援するのも、アジア・アフリカ図書館と三鷹市との協働の一つです。10年の歩みの中で、南部図書館とのコラボレーションは欠かせないことでした。もちろん従来より催して来た「アジア・アフリカを知る集い」は、様々なテーマで毎年開催しています。

この10年は決して順調ではありませんでした。コロナ禍のため2020年5月、6月と休館に追い込まれ、7月にも利用者が激減して図書館運営にも大きな影を落としました。しかしながら、オンラインでのやり取りが発達したために、当図書館でも「アジア・アフリカを知る集い」をオンラインで開催するという新しい試みを行いました。詳しくは2ページをご覧ください。

この間に『改造日報』が発見されました。故菊地三



郎元財団理事長・図書館長の遺品の中からです。1945年～1946年にかけて中国の上海で在留邦人のために刊行された邦字新聞で、大変貴重なものです。『改造日報』の公開は新たな研究資料として多くの研究者の注目を浴びました。

この10年の間に、アジア・アフリカ図書館は蔵書の調査を行い、多岐にわたる図書館ルールの変更も行いました。蔵書調査では、半田積善、斉藤正雄、菊地三郎の蔵書による個人文庫の整理を行いました。また、「郭沫若文庫」のデジタル化が開始されました。郭沫若文庫には郭沫若自身が家族に宛てた自筆の手紙なども展示していますので、予約をして御覧ください。

本号では過去10年を振り返り、今後を見据えた図書館活動の計画を立て、新たな展望を切り開くことにしました。利用者の皆様には変わらぬご支援をお願いいたします。

図書館長あいさつ

図書館に親しみ利用の普及を目指して

当図書館は郭沫若文庫の設置を機に開設されて60年余り。アジア・アフリカ諸国・民族の理解や研究および交流の中で培われ、蓄積された書籍や資料などの文化財から成り立っています。これまで未整理のものも数多く利用が限られていました。利用の普及を図るには、当図書館が所蔵する文化財の成り立ち、いわば“顔”を明らかにして利用者が親しみを持ってくださいることが必要と考えます。またそうす

アジア・アフリカ図書館長 篠原 昭雄

ることによって貴重な文化財が活かされそれぞれ当図書館の使命と思います。

この10年で行ってきた『図書館だより』の刊行や特別展示、三鷹市との協定に基づく諸活動“みんなみフェスタ”や伝統的な“アジア・アフリカを知る集い”、デジタル化の導入などいずれも利用の普及に結び付くものです。

本号はリニューアル10周年を記念して新しく出来た『図書館ホームページ』の内容をお知らせすると同時に、当図書館の蔵書・資料に親しみ利用していただくことをお願いしたものです。

アジア・アフリカを知る集い

〈2014年度〉第23回

講座題目：『信仰によって発展する現代社会：インドネシアとムスリム地域社会』

講演者：阿久津正幸
(あくつ・まさゆき 東洋大学国際学部非常勤講師)

みんなみフェスタ

〈2014年度〉

ドキュメンタリー映画『チベット天空の英雄ケサル大王』の上映と講演会を開催

講演者：大谷寿一
(おおたに・としかず 上記映画の監督)

特別展示

〈2014年度〉

展示会名：『アジア・アフリカの文字』

展示内容：モリサワ社の協力を得てアジア・アフリカ諸国の文字を写真で紹介した。

アジア・アフリカを知る集い

〈2015年度〉第24回

講座題目：『アラビアンナイトを生んだアラビア語の世界』

講演者：師岡・カリマ・エルサムニー
(もろおか・カリマ・エルサムニー アナウンサー、著述家)

みんなみフェスタ

〈2015年度〉

講演会『イスラームの飛躍とアラビアンナイト』

講演者：宮崎正勝
(みやざき・まさかつ 元北海道教育大学教授、著述家)

特別展示

〈2015年度〉

展示会名：『アラビアンナイトの世界』

展示内容：当館所蔵のアラビアンナイト蔵書コレクションを元に、アラビアンナイトが生まれた背景や西洋での発展を解説した。

アジア・アフリカを知る集い

〈2016年度〉第25回

講座題目：『ガンディーと日本』

講演者：内藤雅雄
(ないとう・まさお 東京外国語大学名誉教授、インド史学者)

みんなみフェスタ

〈2016年度〉

講演会『知ってびっくり、こんな秘密が！—韓国人の名づけのルールとは—』

講演者：兼若免之
(かねわか・としゆき 元東京女子大学教授、NHK ハングル語講座講師)

特別展示

〈2016年度〉

展示会名：『“詩”から見たアジア・アフリカ世界』

展示内容：中国、インド、アラブで発展した“詩”を取り上げた。

アジア・アフリカを知る集い

〈2017年度〉第26回

講座題目：『“道”から見たアジア・アフリカ世界—経済・文化のネットワークの観点から』

講演者：宮崎正勝
(みやざき・まさかつ 元北海道教育大学教授、著述家)

みんなみフェスタ

〈2017年度〉

講演会『インターネットが変える中国社会—伝わらないその変貌ぶり—』

講演者：高井潔司
(たかい・きよし 北海道大学名誉教授、桜美林大学リベラルアーツ学群教授)

特別展示

〈2017年度〉

展示会名：『“道”から見たアジア・アフリカ世界』

展示内容：陸と海のシルクロードを舞台にした東西の文化交流や交易の概要を紹介した。

アジア・アフリカを知る集い

〈2018年度〉第27回

講座題目：『カンボジアの大型影絵芝居『スパエク・トム』—暮らしの中に生きる芸能の魅力—』

講演者：福富友子
(ふくとみ・ともこ スパエク・トム研究者、著述家)

みんなみフェスタ

〈2018年度〉

影絵劇上演『鬼女になった姫』

上演者：ワヤン・トゥンジュク梅田一座
(梅田英春 うめだ・ひではる 静岡芸術大学民俗音楽講師 ワヤン・トゥンジュク梅田一座タパン県・トゥンジュク村に伝わるワヤンの様式に基づいて、ワヤンの上演、ガムランの音楽を演奏するバリ島のワヤン一座)

特別展示

〈2018年度〉

展示会名：『インドネシアのワヤン—アジアの影絵芝居の世界』

展示内容：インドネシアの影絵芝居「ワヤン」を通して文化の紹介を行った。

アジア・アフリカを知る集い

〈2020年度〉第28回 ZOOM開催

講座題目：『人類生誕の地 アフリカの食と料理—料理本の出版で学んだアフリカの智慧—』

講演者：白鳥くるみ
(しらとり・くるみ アフリカ理解プロジェクト代表)

みんなみフェスタ

〈2019年度〉

講演会と楽器演奏『絵本『西遊記』朗読とトーク・中国伝統楽器『楊琴』の演奏付き』

講演者：唐亜明 (タン・ヤ・ミン 編集者、絵本作家)

特別展示

〈2019年度〉

展示会名：『“食”から見たアフリカの生活文化』

展示内容：アフリカの生活文化のうち“食”に焦点を絞って紹介した。

アジア・アフリカを知る集い

〈2022年度〉第29回

講座題目：『アジア・アフリカ図書館及び郭沫若文庫の整備について』

講演者：篠原昭雄 (しのはら・あきお アジア・アフリカ図書館長)
成家徹郎 (なりけ・てつろう 大東文化大学人文科学研究員)

みんなみフェスタ

〈2022年度〉

講演会『中央ユーラシアから読み直す世界の歴史』

講演者：宮崎正勝
(みやざき・まさかつ 元北海道教育大学教授、著述家)

特別展示

〈2021年度〉

展示会名：『郭沫若文庫の案内』—文庫の内容紹介を中心に—

展示内容：郭沫若文庫の内容をテーマ別に再考して分析し直したものを元に文庫の紹介をした。

アジア・アフリカ図書館 所蔵図書



貴重資料

◎郭沫若文庫

漢籍の分類法である四部分類で分類されていて、経部（儒教の經典など）、史部（歴史や地理）、子部（思想書）、集部（文学作品）、叢書部（羅振玉や錢大昕）、新学部（郭沫若作品）、和書部、洋書部に分けられている。計 1,347 冊。

◎改造日報 155 日分（1945 年 10 月 1 日～1946 年 6 月 30 日）

アジア・太平洋戦争直後に中国在住の日本人の民主化を目的とし、中国・上海で中国国民政府軍が発行した邦字新聞。



◎西藏大藏經 全 168 巻

1955 年に西藏大藏經研究会が出版した、大藏經の復刻版。



準貴重資料

◎個人文庫

- ・半田積善文庫 623 冊（洋書 459 冊 和書 164 冊）

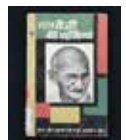
半田積善氏は銀行員として長年インドネシアのバタビア（今日のジャカルタ）に在住し（1919 年～1933 年）、インドネシア語、オランダ語、英語他の諸国語を習得、多くの貴重文献（オランダ語を中心に、英語、フランス語、ドイツ語本を含む）を収集された。

- ・斉藤正雄文庫 461 冊（洋書 394 冊 和書 67 冊）

斉藤正雄氏は早大英文科卒業後の 1921 年ジャワに渡って、「ジャワ日報」の主筆、社長となり、インドネシアの言語・伝説・民話を研究し、またアジア諸語の辞典・文法書・歴史書などを収集した。和書としては、戦前・戦中・戦後に渡って出版されたインドネシア関係の書籍が多くあり、洋書としては東南アジア関係の英語・オランダ語・ドイツ語の書籍が多く含まれている。

- ・菊地三郎文庫 635 冊（図書 515 冊：洋書 70 冊 和書 445 冊 雑誌 120 冊：洋書 27 冊 和書 93 冊）

菊地三郎氏は 1904 年、東京浅草に生まれた。朝日新聞社特派員として、インドネシアと中国上海へ赴任。終戦後の上海で『改造日報』の創刊に参画。アジア・アフリカ図書館長、アジア・アフリカ語学院長に就任。のちにアジア・アフリカ文化財団理事長、会長に就任した。蔵書の内訳としては、戦中から戦後の時期の南方事情についての書籍や、菊地三郎氏が生まれ育った浅草関係の書籍があり、また文学としては岩野泡鳴や野口米次郎の書籍を好んで読んだ。英語で書かれた書籍も多くある。



◎コレクション



- ・アラビアンナイト（171 冊：和書 104 冊 洋書 67 冊）

当図書館では様々な言語の『アラビアンナイト』の書籍を収蔵している。なかでも古い書物は英語版で、1838 年のレイン版と 1894 年のバートン版がある。1929 年の中央公論社版などの日本語訳やアラビア語の原語など各国語を収蔵している。

- ・ガンディー、ネルー関係 92 冊

当図書館の蔵書の中でもガンディーやネルー関係のものは特筆できる。ガンディーの名言集やネルーによる回顧録などを収蔵している。ガンディーの書簡集全 33 巻（英文）も収蔵している。

所蔵図書の全体数と内訳（2023 年 2 月 28 日現在）

アジア・アフリカ図書館所蔵書籍：19,329 冊

- ・日本語書籍（一般書）：全 6,057 冊（地域ごとの冊数：中国 674 冊 日本 620 冊 朝鮮半島 399 冊 インド 393 冊 アラブ 469 冊 インドネシア 315 冊 アフリカ 272 冊 など）
- ・個人文庫：全 1,719 冊 ・外国語書籍（集密書庫分）：全 8,514 冊・郭沫若文庫：全 1,347 冊・貴重資料：全 323 冊
- ・禁帯出資料：1,106 冊（各国語辞書、『ルガト・ナーマ』（ペルシア語大辞典）他）

▶『改造日報』閲覧

2020年に菊地三郎（元アジア・アフリカ文化財団会長）の遺品から発見された『改造日報』が好評を博し、閲覧希望者も多くいました。大阪や長野など遠方からの来訪者に加え、地元三鷹市にも熱心な閲覧者がいました。

▶シンポジウム

『改造日報』と菊地三郎らを研究した発表をベースとした研究会が催されました。タイトルは「戦後上海における対日情報戦のグレイゾーン—『改造日報』を中心として—」です。

▶郭沫若文庫見学とデジタル化

郭沫若文庫の整理も進み調査が行われました。郭沫若直筆のをとみに宛てた書状なども展示しました。研究者や一般の方なども見えて、閲覧者も増えました。また、文庫書籍のデジタル化も進んでいて、撮影も着々と行っています。現在117冊が撮影終了しました。

▶蔵書整理（個人文庫 郭沫若文庫 など）と図書館ホームページのリニューアル

個人文庫の整理が終了し、半田積善文庫、斉藤正雄文庫それぞれのリストをホームページで公開しました。また、アジア・アフリカ図書館のホームページもリニューアルし、図書館の内容をわかりやすくしました。

▶アジア・アフリカを知る集い

「第29回 アジア・アフリカを知る集い」を開催しました。アジア・アフリカ図書館長 篠原昭雄氏による「アジア・アフリカ図書館及び郭沫若文庫の整備について」と成家徹郎氏による「『两周金文辞体系』について」の講演会でした。同時に齋藤孝治氏の著作である『疾風怒涛』の配布もされ、同氏による説明も行われました。

▶南部図書館主催「みんなみフェスタ」

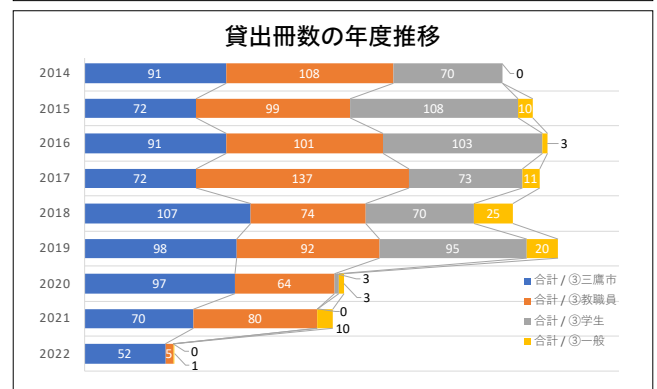
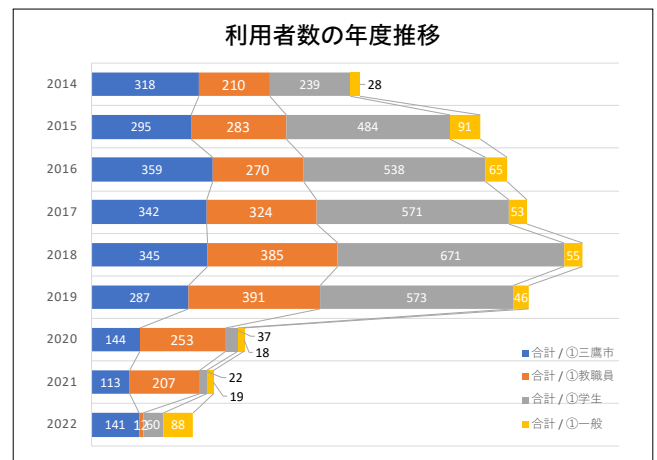
「中央ユーラシアから読み直す世界の歴史」というタイトルで宮崎正勝氏に講演をいただきました。ロシアのウクライナ侵攻や中国の「一带一路」政策の動きには、中央ユーラシアにおける歴史が深く関わっているということで、中央ユーラシア地政学と歴史学の見地から、ロシアや中国の情勢についてのお話しでした。

▶視聴覚資料の寄贈

アジア・アフリカ語学院中国語科卒業の洞様から中国関係のDVDの寄贈をしていただきました。また、以前同語学院で民俗音楽の講師をしていた関鼎先生のご子息から関先生の図書類を寄贈していただきました。その中にレコードが含まれていたため、両視聴覚資料の利用を検討しています。

▶開館日・開館時間の変更と利用者数

2022年4月より開館日を平日は火曜日だけにして、土曜日と日曜日は開館時間を短縮して12:00～17:00としました。利用者数は以下の通りです。



公益財団法人 アジア・アフリカ文化財団経営 アジア・アフリカ図書館

開館日：火（予約制）、土、日（年末年始を除く） 開館時間：12時～17時

〒181-0004 東京都三鷹市新川5-14-16 Tel：0422-44-4640 Fax：0422-46-5107